

平成28年度

事務事業評価表 A (平成27年度の実績評価)

記入年月日  
平成 28 年 4 月 15 日

事務事業名		健康推進員会事業					事業区分		担当	
政策体系		政策体系上の位置付け					新規/継続		事務事業No.	
総合計画の施策名		0201 健康づくりの推進					単独/補助		020101000326	
政策名		02 安心と安らぎのある健康福祉社会づくり					単独		040401	
施策名		01 健康づくりの推進					主要事業		所属課	
基本事業名		01 健康意識の啓発と健康づくりの推進					対象外		健康推進課	
		01 健康づくりの推進					対象外			
		01 健康意識の啓発と健康づくりの推進					対象外		グループ	
		01 健康意識の啓発と健康づくりの推進					対象外		健康づくり	
予算科目		財務会計上の位置付け					事業期間			
会計		科目					単年度繰返し (平成18年度~)			
01		04					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
01		04								
01		01								
01		02								
01		02								
01		00								
法令根拠										

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
① 事務事業の概要 (事務事業の全体像)	② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>地域住民と保健行政との連携を図り、全ての市民が健やかに心豊かに生活を持て、主体的に健康づくりに取り組めるように支援することを目的として平成18年度に設置された。内容は乳幼児健康審査・市民健康講座等の健康教室・市民祭・がん検診普及等健康増進事業への協力、健康づくり事業周知・啓発及び、地域住民のニーズの提供・行政との連絡調整等。</p> <p>各行政区長推薦により定数182名を、平成24年度から、各行政区長推薦120名と一般公募30名の150名として改正。健康推進員ひとりあたり、年間5,000円の報酬費を支払う。</p>	<p>市は、事務局として会の運営の支援、連絡会議(年1回)、代表者会議(年4~5回)の開催推進員活動のPRのほか、任期(2年)の交代時の区長への推薦依頼を取りまとめ、その他の活動支援。報酬の支払い。</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

① 手段 (担当者の活動内容)	④ 活動指標 (活動量を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
<ul style="list-style-type: none"> <li>健康推進員連絡会議の開催</li> <li>代表者会議の開催年3~4回</li> <li>健康推進員研修会の開催年2回</li> <li>健康づくり会議への参加</li> <li>区長へ健康推進員の推薦依頼</li> </ul>	健康推進員活動日数	日	150.00	109.00	110.00	110.00	110.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
健康推進員	健康推進員数	人	127.00	127.00	127.00	127.00	127.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
市民自らが健康になれるように支援していくための活動が出来る。	健康推進員延数		477.00	511.00	520.00	520.00	520.00
	自主活動グループ数	か所	2.00	2.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入	事業費	財源内訳	26年度 (実績)		27年度 (実績)		28年度 (計画)		29年度 (目標)		30年度 (目標)		期間限定総投入量
			千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
量	費	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		地方債	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		使用料・手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	686	
		その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		一般財源	769	661	686	686	686	686	686	686	686		
		事業費計(A)	千円	769	661	686	686	686	686	686	686	686	
正職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	3.00人	700.00		
述べ業務時間	時間	510.00	693.00	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00	700.00				
人件費計(B)	千円	1,480	2,010	2,031	2,031	2,031	2,031	2,031	2,031				
トータルコスト(A)+(B)	千円	2,249	2,671	2,717	2,717	2,717	2,717	2,717	2,717	2,717			

27年度事業費 実績 (千円)				28年度事業費 予算 (千円)			
01 報酬	625			01 報酬	650		
08 報償費	23			08 報償費	18		
11 需用費	13			11 需用費	18		
合計				合計			
661				686			

(4) 当該年度の実施内容	28年度の事業内容	29年度の事業内容	30年度の事業内容
<p>※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主要事業</li> <li>・市長マニフェスト</li> <li>・未来PJ事業</li> <li>・合併建設計画事業</li> </ul>			

事務事業名	健康推進員事業	事務事業No.	20101000326	所属課	健康推進課
-------	---------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	平成18年7月町村合併を機に、従来各町村にあった地区組織を解散し、新たに設置した。2年を任期とし市民を巻き込んだ健康づくりに取り組んでいる。運動グループの自主活動を発足し、地域に運動する場を根づかせ、多くの市民に運動の楽しさを味わってもらっている。また、がん検診の普及啓発を目的に、乳幼児健診時や市民祭などで若い世代に声かけし、子宮・乳・大腸がん等の新規がん検診受診者を増やしている。活動の活性化を図るため、区長推薦のほか一般公募者を平成24年より導入した。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	区長推薦により委嘱をしているが、行政区によっては、仕事や家庭の事情で担い手がないのが現状。新任で65歳、再任で70歳までの年齢制限があり、この年齢ではまだ勤めていてなかなか引き受けてもらえないと区長からの意見がある。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	桜川市第1次総合計画の施策体系「健康づくりの推進」の事業である「健康づくりボランティア育成事業」である。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	健康づくりは、市民一人一人が主体となり、健康に対する意識の向上と健康づくりの取り組みが出来ることが大切で、市民と行政のパイプ役として必要である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	会員の意識、仕事や家庭の事情等で、推進員の活動意欲に差がみられる。地区の代表者を中心となり、研修会・などで会員の意識啓発を図り、充実したやりがいのある活動に発展させていく。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input type="checkbox"/> 影響有	地域での健康づくりの担い手が無くなり、地域のニーズや市民の要望が行政につながりにくくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名	<input type="checkbox"/> 余地がない	保健事業のパイプ役として、健康づくりの中心となり活動する組織はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	報酬費・食料費のみであるので削減余地はない。事務局は年1回の連絡会議の資料作成や研修会・代表者会議の業務にあっている為、削減は難しい。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	行政区ごとに区長から推薦を受けているので、市内ほぼ公平に選出されている。また、平成24年度以降の改正についても、活動を希望している有志を広報で公募しているため、公平公正と言える。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																					
①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	健康推進員として若い世代へがん検診や運動の推奨を活動の柱に据え活動した。なお、健康推進員活動の紹介及び公募を目的に「広報さくらがわ」に2回掲載し、活動のPRに努めた。次年度は、さらに健康推進員の活動に対する意識を高め活動していく。																					
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 → <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 → <input type="checkbox"/> 現状維持	(複数回答可) <input checked="" type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																						
会員間でも、健康推進員としての意識や活動時間に差が生じているので、その差をどううめていこうかが課題である。																						
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
	(6) 事務事業優先度評価結果																					
	成果優先度評価結果 ②																					
	コスト削減優先度評価結果 ⑨																					

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>